

深浦港夕陽公園トイレ補修工事

設 計 図

I N D E X			
A－特記1	特 記 仕 様 書（1）	E－ 0 1	電気設備 特 記 仕 様 書 － 1
A－特記2	特 記 仕 様 書（2）	E－ 0 2	電気設備 特 記 仕 様 書 － 2
A－特記3	特 記 仕 様 書（3）	E－ 0 3	電気設備 平 面 図（ 撤 去 ）
A－特記4	特 記 仕 様 書（4）	E－ 0 4	電気設備 平 面 図（ 修 繕 ）
A－ 0 1	工 事 概 要、付 近 見 取 図		
A－ 0 2	配 置 図		
A－ 0 3	平 面 図（ 修 繕 ）		
A－ 0 4	平 面 図（ 撤 去 ）	M－ 0 1	機械設備 特 記 仕 様 書
A－ 0 5	立 面 図（ 1 ）	M－ 0 2	機械設備 平 面 図（ 修 繕 ）
A－ 0 6	立 面 図（ 2 ）	M－ 0 3	機械設備 平 面 図（ 既 設 ）
A－ 0 7	屋 根 伏 図		
A－ 0 8	天 井 伏 図		
A－ 0 9	建 具 キープラン		
A－ 1 0	建 具 表		

西北県土整備事務所 鯨ヶ沢道路河川事業所
株式会社 三 和 技 術

建築工事特記仕様書

I 工 事 概 要

1 名 称

深浦港夕陽公園トイレ補修工事

2 工 事 場 所

西津軽郡深浦町大字深浦 地内

3 用途地域等

都市計画区域（・ 内 ○ 外） 用途地域（指定なし）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ○ 指定なし ・ 22条 ）
その他の地域・地区（

4 主 要 用 途

公衆トイレ

5 敷 地 面 積

—

6 工 事 の 概 要

建築・設備修繕工事

7別 途 工 事

—

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「木造標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（ ）、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項	目	特 記 事 項
1	①	一般事項	◎ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ◎ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ◎ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
	②	適用基準等	・ 建設工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修） ※ 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ※ 公共建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ※ 青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン ・ 『青森県公共事業景観形成基準』及び『青森県景観色彩ガイドライン』 ・ 防犯に配慮した設計ガイドライン ※ 青森県認定リサイクル製品優先使用指針（素森県環境生活部）
	③	概成工期	工事工期より 日 前 (1.2.1)
	④	工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（精算精算額が500万円以上の場合） (1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書な、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤	発生材の処理等	発生材の処理 (1.3.8) ・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） 受入れ施設名・所在地(km) ・ 再生資源化を図るもの
		種 類	受入施設名 所在地 (Km) 備 考
		・ セメント コンクリート塊	
		・ アスファルト コンクリート塊	
		・ 建設発生木材 ・ 建設汚泥	
		・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ その他の廃棄物（安定型）（ ） 受入れ施設名・所在地(km) ・ その他の廃棄物（管理型）（ ） 受入れ施設名・所在地(km)	
		上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。	
	⑥	電気保安技術者	・ 適用する ※ 適用しない (1.3.3)
	⑦	事故報告	(1.3.9) 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

1 ⑧ 建筑材料等

材料の品質等 (1.4.2)
本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮 (1.4.1)
本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「具有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建筑材料
1) J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3) 次の表示のあるJ A S適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定 (1.5.9)
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質 ※ホルムアルデヒド（濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm）
※ スチレン（濃度指針値 220 μg/m3 ・ 0.05ppm）
※ トルエン（濃度指針値 260 μg/m3 ・ 0.07ppm）
※ エチルベンゼン（濃度指針値 3,800 μg/m3 ・ 0.88ppm）
※ シジソ（濃度指針値 200 μg/m3 ・ 0.20ppm）

測定する室等：（ ）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を2部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日光射入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
c 試料採取方法、測定方法、使用方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。

10. 特別な材料の工法

11. 建築基準法による風圧力等の指定 (8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.11.2～13.2)(16.14.5)

適 用 工 事	建 築 基 準 法 の 指 定
・ 長尺金属板葺 ・ 折板葺	風速(V0) ※3 0 ・
・ 粘土瓦葺 ・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分 ・ II ・ III
・ ガラスブロック ・ ALC外壁パネル	多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	
・ 重量シャッター ・ 軽量シャッター	
・ オーバーヘッドドア	

12. 設計G.L.

⑨ 技 能 士 (1.5.2)
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。
・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工 事 種 目	技能検定職種 (技能検定作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・ とび（とび作業）
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・ とび（とび作業） ・ 鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック・ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系連続防水工事作業 ・アクリルゴム系連続防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート防水工事作業 ・FRP防水工事作業）
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	・ タイル張り（タイル張り作業）
木工事	・ 建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・ 建築板金（内外装板金作業） ・ かむらぶき（かむらぶき作業）

1 ⑩ 完成図等

完成時の提出図書

完成写真（改修工事は着工前を左、完成写真を右） ※ 4部
工事写真 ※ 3部
完成図 ※ 二つ折り製本 ※ 2部
※ A4判二つ折り製本 ※ 1部
施工計画書（工事期間中に監督職員の承諾を受けたもの） 1部
承認図 1部
施工図 1部
保全に関する資料（標仕(1.7.3)(a)に示す内容） ※ 2部
工事関係資料 2部
その他監督職員が指示する書類

15. 設備工事との取合い

16. 火災保険等

17. 住宅瑕疵担保責任

2 ⑪ 仮囲い

⑫ 危害防止

3. 交通誘導員

4. 揚重機械器具

5. 監督職員事務所

⑬ 工事表示板

⑭ 事業コスト表示板

⑮ 工事用水

⑯ 工事用電力

⑰ 工事用通路

⑱ 足場等

12. その他の仮設

3 1. 埋戻し及び盛土の種類別

2. 建設発生土の処理

3. 山留め

金庫工事

内装仕上施工（鋼製下地工事作業）

・ 内装仕上（内外装板金作業）

・ 建築板金（内外装板金作業）

・ バルコニー施工（金属バルコニー工事作業）

左官工事

・ 左官（左官作業）

建具工事

・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）

・ ガラス施工（ガラス工事作業）

・ 自動ドア施工（自動ドア施工作業）

・ カーテンウォール施工（

コンクリート工事	6. 型枠	(6. 8. 2) せき板の種類 ※ 合板 ※ 床型枠用鋼製デッキプレート ※ 断熱材兼用型枠 MCR工法用シート ※ 適用しない 適用する ・ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ※ 図示 (6. 8. 1) (6. 10. 1) (表6. 10. 1) 種 別 適用箇所 所要気乾単位容積質量 (t/m3) (6. 11. 4) 初期養生期間 コンクリート圧縮強度が 5 N/mm2 に達するまで行うこと。 (6. 14. 1) コンクリートの種類 適用範囲 ※普通コンクリート ※ (6. 14. 1) (4) (ア～カ) による (6. 15. 2) (表6. 15. 1) コンクリートのスランプ 種 別 ベースコンクリート (cm) 流動化コンクリート (cm) 普通コンクリート ・ 1.0 ・ 1.2 ・ 1.5 ・ 1.8 ・ 2.1	8. 押出成型セメントブロック工事 コンクリートブロックパネル	11. タイル工事 ・ 屋根パネル構法 ・ 床パネル構法 パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8. 5. 2～4) (表8. 5. 1～2) 工 法 パネルの種類 厚さ 幅 工法種別 施工箇所 耐火性能 ・ 外壁パネル工法 ・ 間仕切壁パネル工法 ・ A 種 ・ B 種 建築基準法施行令第107条の規定に基づく技術基準 ・ B 種 ・ C 種	14. 金 属 工 事 3. セメントモルタルによる タイル張り 内装タイルの工法 ※ 改良積上げ張り 施工箇所 () 外装タイルの工法 ※ 密着張り 施工箇所 () ※ 改良圧着張り 施工箇所 () ユニットタイルの工法 ※ マスク張り 内装タイルの工法 ・ 接着剤張り 施工箇所 () 接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品 (11. 3. 7) (表11. 3. 2) (11. 3. 3) 位置 ※ (表11. 1. 1) による 目地寸法 ※ (表9. 7. 3) による ・ 図示 ・ 図示 (11. 1. 3) (11. 1. 3) (11. 1. 5) ※ (表11. 1. 2) による	15. 木 工 事 1. 木 材 の 表面仕上げ (12. 1. 4) (表12. 1. 4) 機械加工 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 手加工 ・ H-A 種 ・ H-B 種 ・ H-C 種 含水率 下地材 ※ A 種 ・ B 種 造作材 ※ A 種 ・ B 種 (12. 2. 1) (表12. 2. 1) 造作材の材面の品質 ※ A 種 ・ B 種 (12. 2. 1) (表12. 2. 2) 造作用集成材 12. 2. 1. (3) による 見 付 け 材 面 等 級 ※ 1 等 ・ 2 等 ※ I A S 集成材 1 等同等 単材の樹種 単材の厚さ (mm) 1.0 ～ 1.5 1.0 ～ 1.5 造作用単板積層材 12. 2. 1. (4) による 表面の化粧加工 ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無 () ・ 無 () 単材の樹種 単材の厚さ (mm) 造作用集成材 12. 2. 1. (5) による 施 工 箇 所 種 別 樹 種 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行なった箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1	16. ステンレス表面処理 3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 4. 鉄鋼の亜鉛めっき 5. 軽量鉄骨天井地下 6. 軽量鉄骨壁地下 7. 金属成形板張り 8. アルミニウム製笠木 9. 手すり及びタラップ 10. 体育館の鋼製床下地材	※ H L (14. 2. 2) (表14. 2. 1) 種 類 施 工 箇 所 色 合 ・ 一 種 ・ 一 種 (14. 2. 3) (表14. 2. 2) 種 類 施 工 箇 所 ・ 種 ・ 種 溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ・ 行う 電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ・ 行う 野縁などの種類 (14. 4. 2) (表14. 4. 1) 屋内 ※ 1.9 型 ・ 2.5 型 (室名 :) 屋外 ・ 1.9 型 ※ 2.5 型 耐震性を考慮した補強 (14. 4. 3) (表14. 4. 3) ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強 (ビロディ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) 床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。 スタッド、ランナーなどの種類 (14. 5. 3) (表14. 5. 1) ※ (表14. 5. 1) による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ (14. 5. 4(5)) による 種 別 () (14. 6. 2) (表14. 6. 3) ※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。 伸縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない 表面処理 ※ BB-1 種 ・ BB-2 種 (14. 7. 2) (表14. 7. 1) (表14. 2. 1) 隅角部及び突当り部の役物の使用 ※ 使用する (笠木本体製作時の仕様による。) (14. 8. 2) (表14. 8. 3) 手すり ※ ステンレス SUS304 HL 仕上程度 ・ 鋼 製 亜鉛めっきの場合表14. 2. 2のC 種 タラップ ※ ステンレス SUS304 外部HL 仕上程度、内部No. 2B 仕上程度 ・ 鋼 製 亜鉛めっきの場合表14. 2. 2のC 種 ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品
	7. 軽量コンクリート	(7. 1. 3) ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 (7. 1. 4) ※ 施工監理技術者 (※配置する ・ 配置しない) (7. 2. 1) (表7. 2. 1) 材 質 規 格 ・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STKR400 ・ SN400B,C ・ SN490B,C ・ SM400 ・ SM490 JIS表示認証製品 (7. 2. 2) ※ トルシア形高力ボルト ・ J I S 形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト 溶接部の外観試験 (7. 6. 12) 平12建告第1464号第二号に関する試験方法等 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 3. 5. 2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS6 10. 4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書 7. 6. 13 による補修を行い、再試験する。 (7. 6. 12) 完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 溶接の区分 AQL (%) 検査水準 備 考 工場溶接 ・ 2.5 ※4. 0 ※6 ・	9. 防水工事 1. アスファルト防水 (9. 2. 2) (9. 2. 3) (表9. 2. 3～9) 種 別 施 工 箇 所 種 別 施 工 箇 所 ・ A- 種 ・ B- 種 ・ D- 種 ・ E- 1 屋内 (便所・浴室) アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※ 3 種 ・ 押さえ金物 (※アルミ製 L-30×15×2. 0) ・ 断熱材 ※ A 種押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3 種 b A (スチン層付き) ・ 溶接金網 (規格) ・ 伸縮調整目地 (※成形伸縮目地) (表9. 2. 1) (9. 3. 2) (9. 3. 3) (表9. 3. 1～3) 種 別 施 工 箇 所 シートの厚さ ・ AS-T ・ AS-T1 ・ AS-T1 ・ AS-T1 (表9. 3. 1～3) による 改質アスファルトシートの種類 JIS A6013のJIS表示認証製品 ・ 押さえ金物 ※アルミ製 L-30×15×2. 0 ・ 断熱材 ※ A 種硬質ウレタンフォーム保温板 2 種 1 号又は 2 号 (透湿係数を除く JIS A9521 規格に適合するもの) ・ 脱気装置 (種類・数量：改質アスファルトシート製造所の指定とする) (9. 4. 2) (9. 4. 3) (表9. 4. 1) 種 別 厚さ (mm) 施 工 箇 所 保護塗料 (露出) ・ S-F 1 ※1. 2 ・ ※カラー ・ シルバー ・ S-F 2 ※2. 0 ・ ・ S-M 1 ※1. 5 ・ ※カラー ・ シルバー ・ S-M 2 ※1. 5 ・ ・ S-M 3 ※1. 2 ・ ルーフィングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品 ・ 脱気装置 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする) ・ 絶縁シート (※発泡ポリエチレンシート) ・ その他の材料 () (9. 5. 3) (表9. 5. 1) (表9. 5. 2) 種 別 施 工 箇 所 保護塗料 (露出) ・ ウレタン ・ X- 1 バルコニー ※カラー ・ シルバー ・ ゴム系 ・ Y- 1 地下外壁 ※カラー ・ シルバー ・ ゴム系 ・ Y- 2 室内 (便所・浴室) ・ 脱気装置 (材質：ステンレス製又はアルミ製) (設置数量： 箇所) (9. 6. 2) (9. 6. 3) (表9. 6. 2) 種 別 施 工 箇 所 ※ C-U I ・ C-U P (表9. 6. 1) による (9. 7. 2) ※ 被着体との組み合わせは (表9. 7. 1) による。 アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より 1 0 年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	2. 改質アスファルトシート防水 (9. 3. 2) (9. 3. 3) (表9. 3. 1～3) 種 別 施 工 箇 所 シートの厚さ ・ AS-T ・ AS-T1 ・ AS-T1 ・ AS-T1 (表9. 3. 1～3) による 改質アスファルトシートの種類 JIS A6013のJIS表示認証製品 ・ 押さえ金物 ※アルミ製 L-30×15×2. 0 ・ 断熱材 ※ A 種硬質ウレタンフォーム保温板 2 種 1 号又は 2 号 (透湿係数を除く JIS A9521 規格に適合するもの) ・ 脱気装置 (種類・数量：改質アスファルトシート製造所の指定とする) (9. 4. 2) (9. 4. 3) (表9. 4. 1) 種 別 厚さ (mm) 施 工 箇 所 保護塗料 (露出) ・ S-F 1 ※1. 2 ・ ※カラー ・ シルバー ・ S-F 2 ※2. 0 ・ ・ S-M 1 ※1. 5 ・ ※カラー ・ シルバー ・ S-M 2 ※1. 5 ・ ・ S-M 3 ※1. 2 ・ ルーフィングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品 ・ 脱気装置 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする) ・ 絶縁シート (※発泡ポリエチレンシート) ・ その他の材料 () (9. 5. 3) (表9. 5. 1) (表9. 5. 2) 種 別 施 工 箇				

19内装工事

9. フローリング張り

・単層フローリング

(19.5.2~3) (19.5.5~6) (表19.5.3~4)

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・フローリングボード1等	※なら	※15幅75 ・長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンドリの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・フローリングブロック1等	※なら	※15 (303×303)	・接着工法	・生地のままワックス ・既塗装品

・複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・複合フローリング	※なら	・A種 ・B種 ※C種	※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステンドリの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
・大型積層フローリング	・なら	・	・行わない	・特殊張り工法 (体育館床)	・生地のままワックス塗り ・既塗装品

10. 畳敷き

11. 石こうボードその他ボード及び合板張り

畳の種類

・A種
・B種
※C種

・D種 ()

(19.6.2) (表19.6.1)

(19.7.2~3) (表19.7.1) (表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK		壁 ・8(不燃) ・10(不燃) ・12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井 ・8(不燃) ・12(不燃)	
グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B	ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品	25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR	※内部用 ・軒天用	普通 ※9(不燃) ・12(不燃) 立体 ・12(不燃) 模様 ・15(不燃) ・19(不燃)	JIS A 6301
せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R		壁 ・9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・15(不燃) 天井 ・9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
シーリング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S		壁 ・12.5(準不燃) 天井 ・9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	JIS A 6901
強化せっこうボード (せっこうボード製品) GB-F		・12.5(不燃) ・15(不燃)	JIS A 6901
不燃積層 せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄	9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D	木目模様 木目模様 (裏材付き) 特殊模様	壁 ・9.5(準不燃) ※12.5(不燃) 天井 ・9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901

せっこうボードの目地処理

※ 継目処理工法
・突付けV目地工法
・突付け工法
・目透し工法

・アクリル系シーリング材

※ ジョイントコンパウンド

(19.7.2)

(19.8.2)

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

品質は参考商品名である。

断熱材の打込み及び現場発泡工法

(19.9.2) (19.9.3)

種類	種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・A種ビーズ法 ※A種押出法2種b		・25	JIS A 9521の JIS表示認証製品
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材(A種)	・2種b ・3種b (スキン層あり)	下記以外 ・接合部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※25	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・		・	
・フェノールフォーム断熱材	・		・	JIS A 9521の JIS表示認証製品
・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※A種1H	・	※30	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種類	種類	箇所	厚さ(mm)	備考
・JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法2種b ※A種押出法3種b (スキン層あり)	下記以外 ・接合部分及び 屋根防水部分 ビット内部	※25	JIS表示認証製品

12. 遮音シール材

13. 壁紙張り

14. 断熱材

20内装工事

1. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法 (置敷工法)		・1.0G ※0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法 (置敷工法)				
	・支柱分離型パネル工法 (支柱調整式工法)				

ボーダー部

※ 一般部分の仕様に準ずる

床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。

配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。

空調用吹き出し(吸い込み)パネル

※なし

・有リ(※固定式)

・可変式)

施工箇所は図示

(20.2.3)

構造形式による種類

スタッ式(内蔵)

・アルミニウム合金系

・スチール系

構成基材

焼付塗装鋼板(標準色)

t=0.5以上

遮音性

3.6dB/500Hz以上

防火性能

不燃

(20.2.4)

パネルの操作方法による種類

規定しない

製造所仕様の化粧鋼板(標準色)

t=0.5以上

パネル回転式又はプッシュ式

3.6dB/500Hz以上

遮音性

3.6dB/500Hz以上

防火性能

不燃

取り付け用あと施工アンカー

材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による

(20.2.5)

表面材

メラミン樹脂系化粧板(標準色)

ステンレス製 H=60

アルミ製

厚40中心吊りアルアルミ製エッジ、

帽子掛け戸当たり付き

(20.2.6)

材種

ステンレス(SUS304)

ビニールタイヤ入り(幅約35mm)

※接着工法

・埋込み工法

(20.2.7)

ステンレスFB(SUS304)

t5~6×H12

(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)

(20.2.8)

・黒板

区分

・

※焼き付け

・鋼製黒板

・ほうろう黒板

・ホワイトボード

※緑

(20.2.9)

耐湿鏡

t=5

ステンレスフレーム付き

(20.2.10)

衝突防止表示

H/L仕上り Φ30程度

市販品

ステンレス製

誘導標識

市販品

アクリル板

(20.2.11)

10. 煙突ライニング材

煙突用成形ライニング材

安全使用温度

・400℃

・600℃

(20.2.12)

11. ブラインド

形式	※ 横型ブラインド	・縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	・クロススラット ・アルミフラット
開閉方式	※ ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形(mm)	※ 25	・80 ・100

操作方式

・スプリング式

※ チェーン式

・電動式

スクリーンの生地

無地で製造所仕様の標準タイプ

その他の材料

※製造所の仕様による

(20.2.14) (表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまみひだ	・シンクハ片引き ・ダブル・引分け ・電動	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまみひだ	・シンクハ片引き ・ダブル・引分け ・電動	※手引 ・ひも引 ・電動

(20.2.14)

14. カーテンレール

材質

※ ステンレス製

・アルミニウム製

形状

※ 角型

・C型

(表14.2.1)

15. アルミニウム製カーテンボックス

表面処理

※ BC-1種

・BC-2種

(20.2.14)

16. 点検口

施工箇所

材種

寸法

形式

天井

※ アルミニウム製

※ 450×450

※ 600×600

※ 目地タイプ

・細線タイプ

床

※ アルミニウム製

・450×450

※ 600×600

・一般形貼物用

・一般形充填用

21排水工事

1. グレーチング

※ 鋼製

・ステンレス製

(21.2.1)

2. 鋳鉄製マンホールふた

簡易密閉式とし、表面には用途別の標準文字付きとする。

(21.2.1)

3. 緑及び側溝

地盤の材料

※再生クラッシャーラン

・

(21.3.2)

4. 埋戻し土

※B種

22

1. 再生材

※ 使用する

・使用しない

(22.1.3)

2. 盛土材料

路床の盛土材料

・A種

※B種

・C種

・D種

(22.2.3)

3. フィルター層及び凍上抑制層用材料

フィルター層

※ 砂

凍上抑制層

※ 再生クラッシャーラン

・切込砂利又は切込砕石

(22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1)

4. 路床安定処理

路床安定処理添加材料

※ 普通ポルトランドセメント

・高炉セメントB種

・フライアッシュセメントB種

・生石灰(・特号・1号)

・消石灰(・特号・1号)

(22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1)

5. 砂の粒度試験

※ 行わない

・行う

(22.2.3)

6. 路床土の支持力比(CBR)試験

※ 行わない

・行う(※ 乱した土

・乱さない土)

(22.2.5)

7. 路床の締固め度の試験

・行わない

※ 行う(箇所:埋戻し及び盛土部)

(22.2.5)

8. 路盤材料

※ 再生クラッシャーラン RC-40

(透水性舗装の場合を除く)

・クラッシャーラン C-40

・クラッシャーランスラグ CS-40

(22.3.3) (表22.3.1)

9. 路盤の締固め度の試験

※ 行う

(22.3.5)

10. アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類

(22.4.2) (22.4.4) (表22.4.4)

表層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(13)	・密粒度アスファルト混合物(13)	・細粒度アスファルト混合物(13)	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	・粗粒度アスファルト混合物(20)	・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする

アスファルト混合物等の抽出試験

※行わない

・行う

(22.4.6)

早強ポルトランドセメント

・使用する

※ 使用しない

溶接金網

※あり

・なし

(22.5.3)

(22.6.2)

種類	部位	厚さ(mm)	
加熱系	※ アスファルト混合物	・車道部	・歩道部
・石油樹脂系混合物	・車道部	・歩道部	図示による
・ニート工法	・車道部	・歩道部	3~5
常温系	・塗布工法	・車道部	・歩道部
			1程度以下

着色骨材・自然石()

(22.6.3)

22舗装工事

13. 透水性アスファルト舗装

構成

・図示

(22.7.2) (22.7.6)

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

※行わない

・行う

舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする

14. ブロック系舗装

・インターロッキングブロック舗装

(22.8.2) (22.8.4) (表22.8.1)

・コンクリート平板舗装

※砂目地

・モルタル目地

・舗石舗装基層

※コンクリート版

・アスファルト混合物

※A種(通路)

※B種(建物周囲その他)

・

(22.9.2)

※JISK5665 3種1号

15. 砂利敷き

16. 区画線

23

1. 植栽地の確認等

※排水性及び土壌硬度の確認

・水素イオン濃度指数(pH)

・電気伝導度(EC)の試験

(23.1.3)

2. 植栽基盤

(23.2.2) (表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基礎の適用	
・A種	樹木	・適用する	※適用しない
※B種	芝、地被類木	※適用する	・適用しない
・C種			
・D種			

※ 現場発生の良質土

・客土

(23.2.3)

・バーク堆肥(50L/㎡)

・下水汚泥コンポスト(10L/㎡)

・

(23.2.3)

種別

※コウライシバ

・ノシバ

(23.4.2)

(23.5.2) (23.5.3)

工法	土壌層厚さ	排水層
・屋上緑化システム	・6cm	・適用する
	・15cm	材質(・軽量骨材
	・30cm	・板状成形品)
		・適用しない

・屋上緑化軽量システム

※ システム製造所の仕様による

24

1. 一般事項

試験採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。))の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質

測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。

3. 測定方法

1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。

2) トルエン換算で2.0μg/m3未満のピークは測定の対象としない。

3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指標値

化学物質名	室内濃度指標値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	200 μg/m3	0.05 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m3	0.0015 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m3	0.0063 ppm
⑫クロロピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m3	(暫定目標値)

4. 測定する室

1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等

・室名:

2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室

・室名:

・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)

次の事項を記載した報告書を2部提出する。

1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試験採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)

2) 試験採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試験採取までの日数)

3) 試験採取方法、測定方法、使用した測定機器

4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他

表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指標値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。

TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

株式会社 三 和 技 術

一級建築士事務所 青森県知事登録 第1074号
一級建築士 大臣登録 第233509号 佐藤 允 信

調査

設計

縮尺

設計年月日

R8.03

工事名称

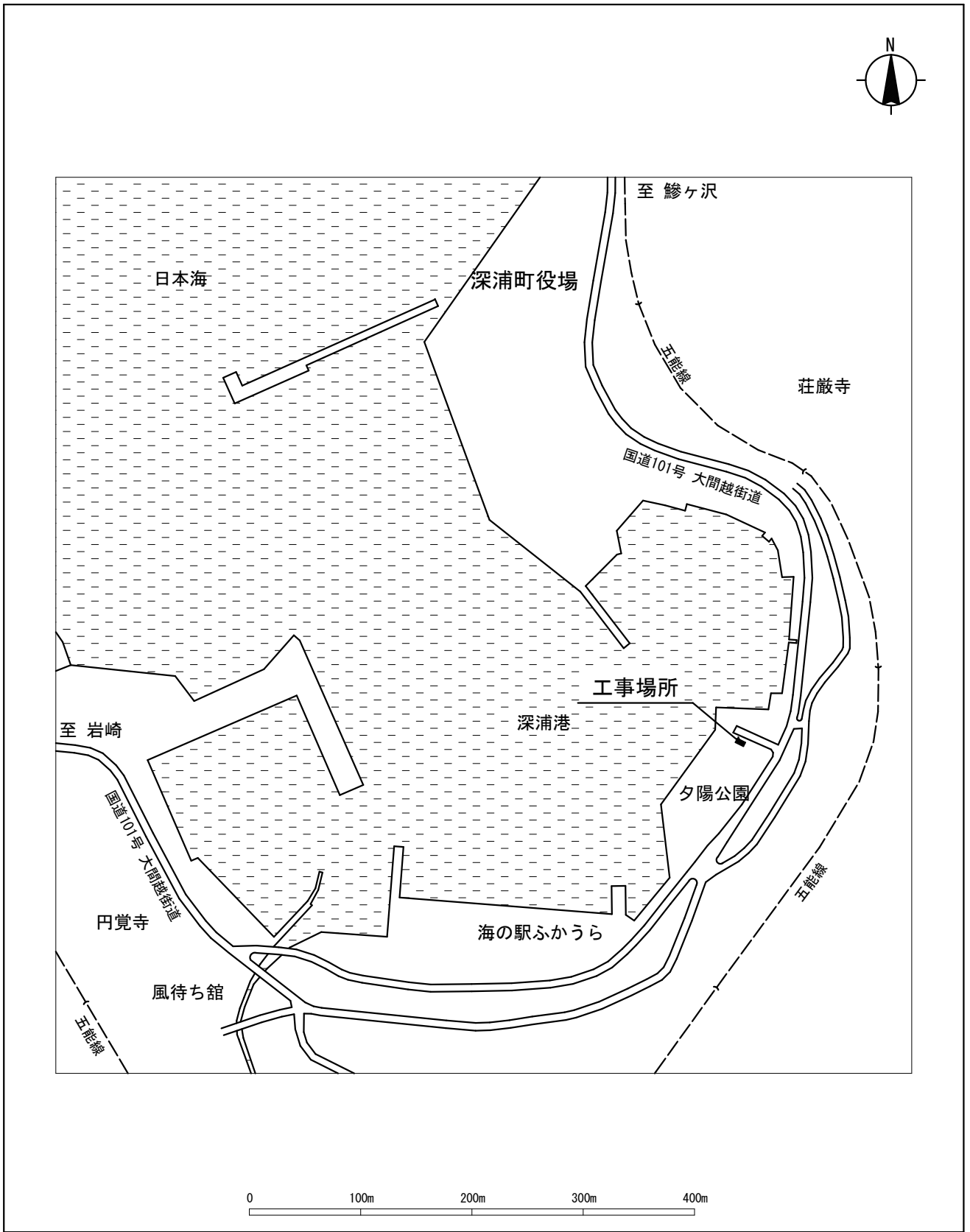
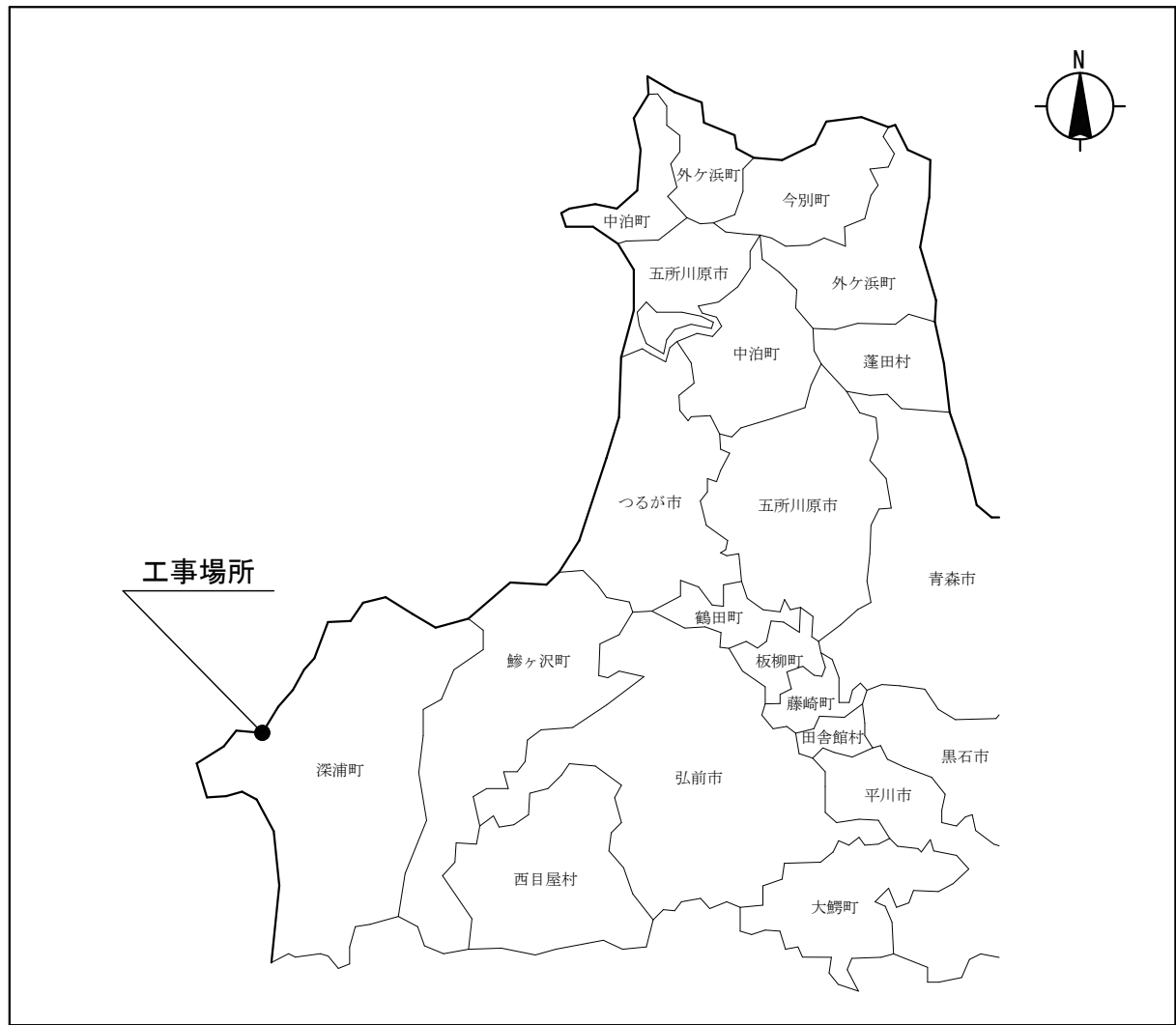
深浦港夕陽公園トイレ補修工事

図面名称

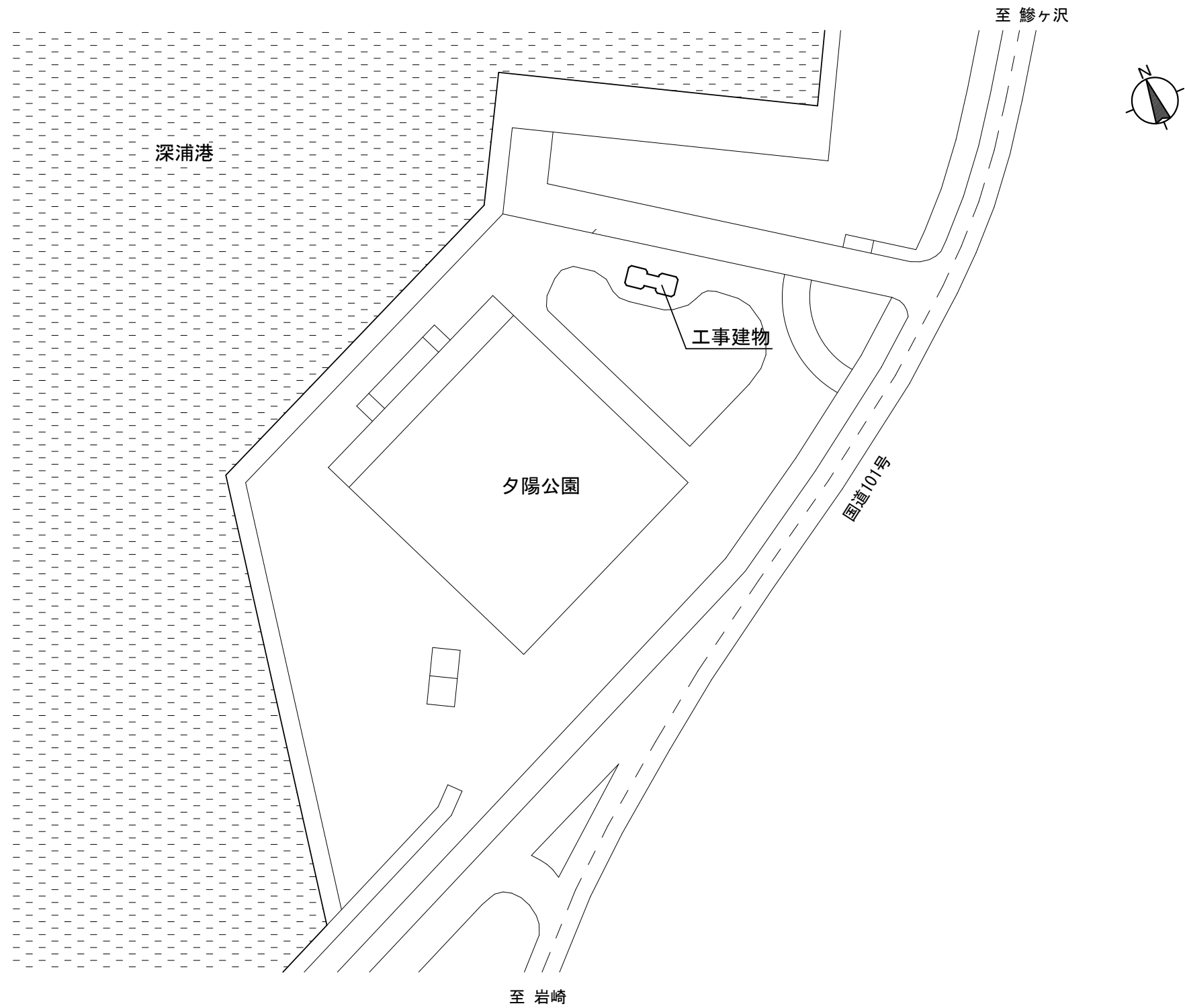
特記仕様書(4)

No. A-特記4

工 事 概 要		
敷地概要	所在地	青森県西津軽郡深浦町大字深浦 地内
	都市計画	都市計画区域外
	建蔽率・容積率	—% ・ —%
建築概要	用途	公衆トイレ
	工事の種別	建築、電気・機械設備修繕
	構造・階数	鉄筋コンクリート構造 ・ 地上１階
	建築面積	32.61 m ²
	延べ面積	32.61 m ²



付近見取図 S=1/5,000



配置図 S=1/1,000

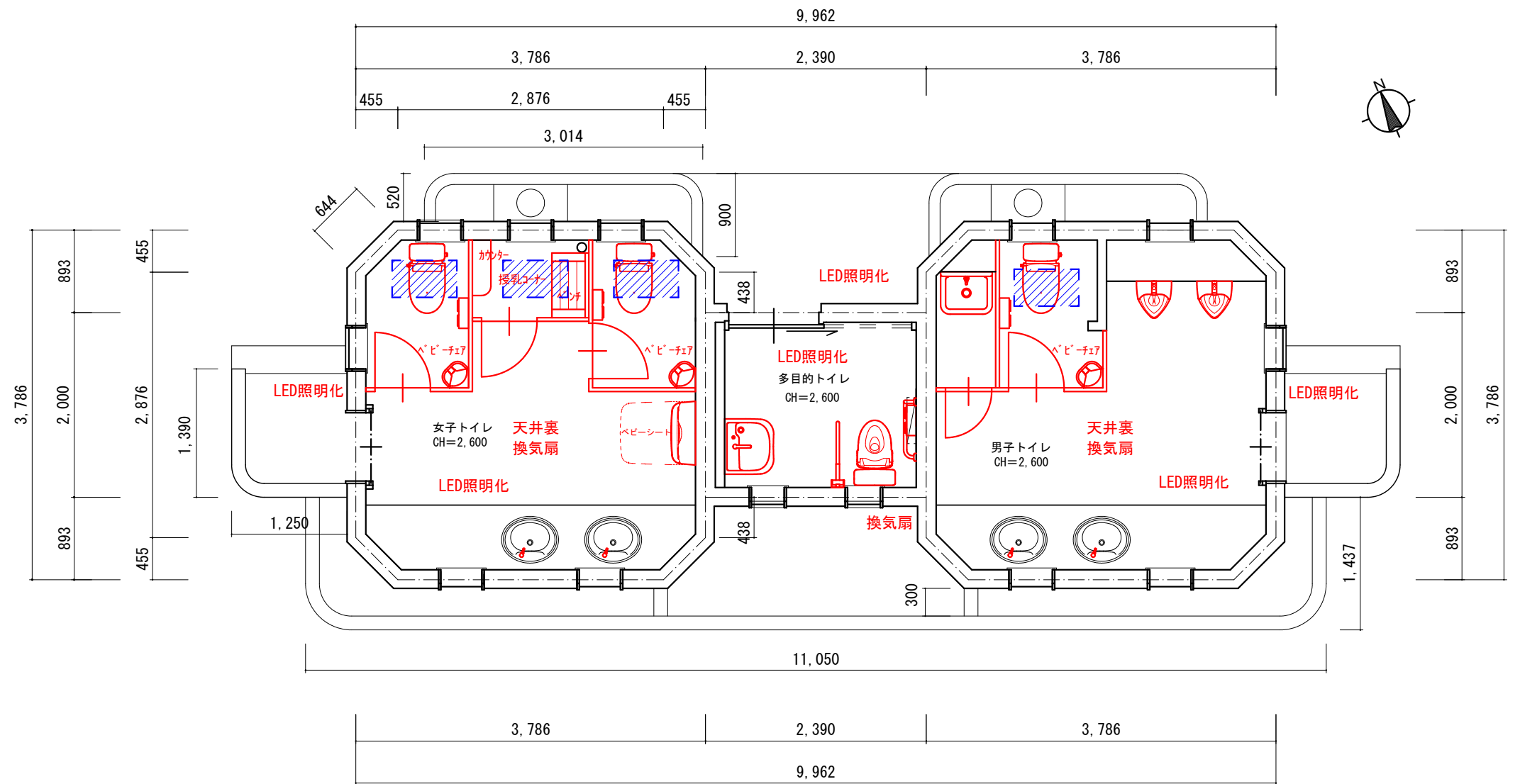
株式会社 三 和 技 術
一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号
一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信

承認	設計	担当	

縮 尺	1/1,000
設計年月日	R8. 3

工事名称	深浦港夕陽公園トイレ補修工事
図面名称	配置図

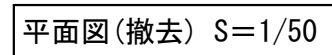
配置図
No. A-02



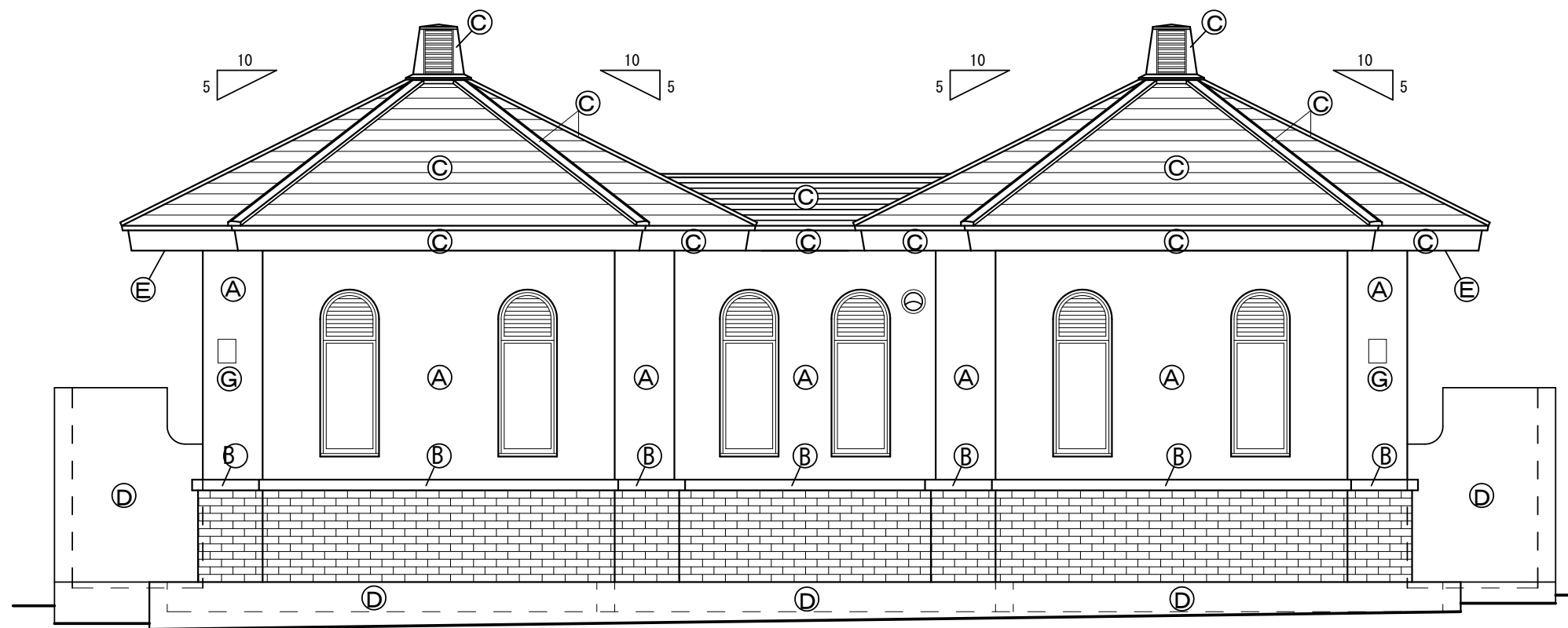
平面図(修繕) S=1/50

 モルタル塗り金ごて押え 厚30mm

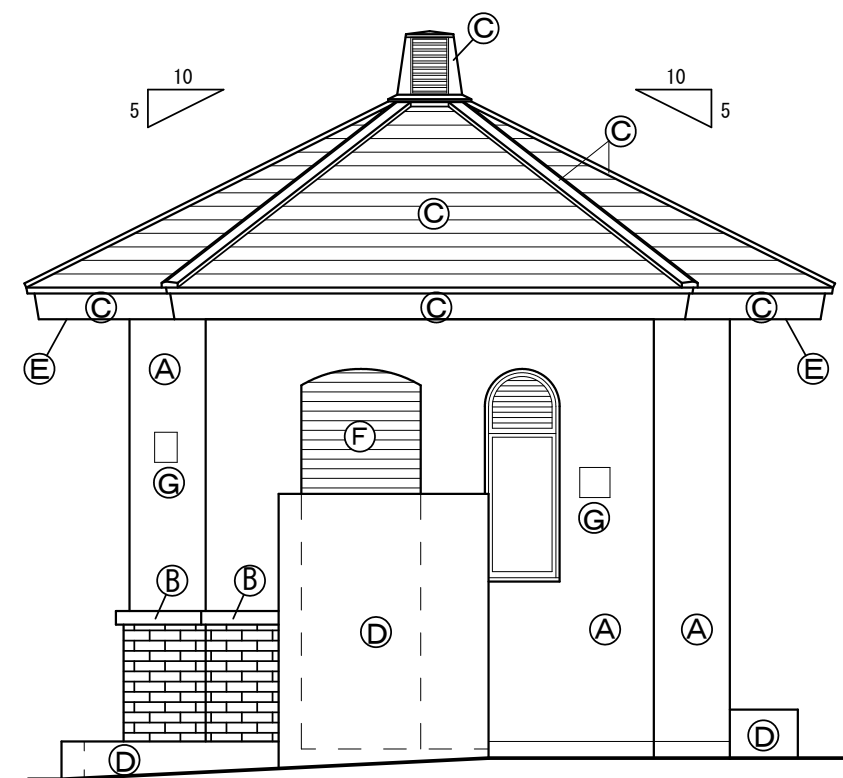
			株式会社 三 和 技 術				縮 尺 1/50		工事名称 深浦港夕陽公園トイレ補修工事		平面図(修繕) No. A-03
			一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号 一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信				設計年月日 R8. 3		図面名称 平面図 (修繕)		



株式会社 三 和 技 術 一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号 一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信	承認	設計	担当	縮 尺 1/50	工事名称 深浦港夕陽公園トイレ補修工事	平面図（撤去） No. A-04
				設計年月日 R8. 3	図面名称 平面図（撤去）	

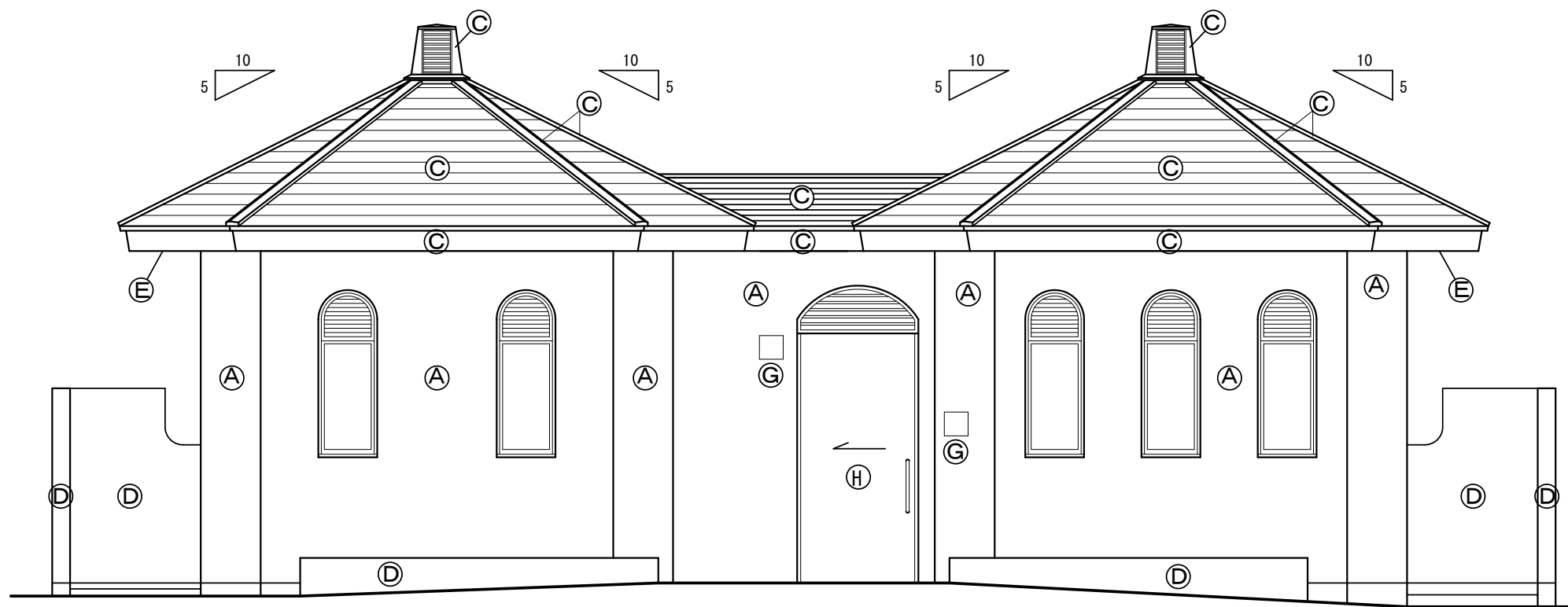


南側立面図 S=1/50

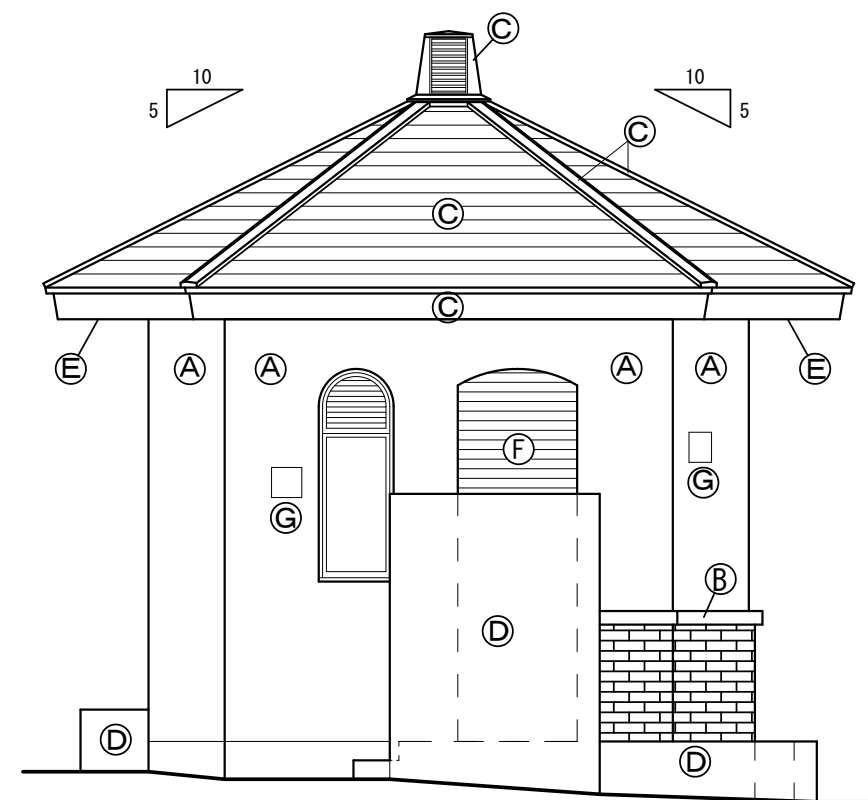


東側立面図 S=1/50

外壁仕上 凡 例				
名 称	記 号	既存 仕上名称	現 況	改修 仕上名称
外 壁	Ⓐ	吹付けタイル	吹付け材の劣化	高圧洗浄 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（DP）コンクリート面B種
ボーダー	Ⓑ	木製 90×90	木材の劣化	撤去後 木材90×45アンカー止め@900 カラーガルバリウム鋼板包み 厚0.35mm 上部MS-2変成シリコーン（2成分形）15×10
屋根・破風・唐草	Ⓒ	カラーガルバリウム鋼板包み 厚0.40mm	表面のサビ	高圧洗浄 下地調整鉄鋼面RB種 耐候性塗料塗り（DP）鉄鋼面2級 アクリルシリコン樹脂系
コンクリート	Ⓓ	コンクリートモルタル仕上げ	表面の劣化	高圧洗浄 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（DP）コンクリート面B種
軒天井	Ⓔ	けい酸カルシウム板 EP塗り	塗装の劣化	下地調整ケイカル面RB種 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（DP）コンクリート面B種
軽量シャッター	Ⓕ	カラー鋼板	塗装の劣化	下地調整鉄鋼面RB種 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（DP）鉄鋼面2種 アクリルシリコン樹脂系
ピクトサイン	Ⓖ	平付け アルミ板 150角	表面の劣化	ピクトサイン 平付け ステンレス製 200角 エッチング



北側立面図 S=1/50



西側立面図 S=1/50

外壁仕上 凡 例				
名 称	記 号	既存 仕上名称	現 況	改修 仕上名称
外 壁	Ⓐ	吹付けタイル	吹付け材の劣化	高圧洗浄 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（ＤＰ）コンクリート面Ｂ種
ボーダー	Ⓑ	木製 90×90	木材の劣化	撤去後 木材90×45アンカー止め@900 カラーガルバリウム鋼板包み 厚0.35mm 上部MS-2変成シリコーン（２成分形）15×10
屋根・破風・唐草	Ⓒ	カラーガルバリウム鋼板包み 厚0.40mm	表面のサビ	高圧洗浄 下地調整鉄鋼面RB種 耐候性塗料塗り（ＤＰ）鉄鋼面２級 アクリルシリコン樹脂系
コンクリート	Ⓓ	コンクリートモルタル仕上げ	表面の劣化	高圧洗浄 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（ＤＰ）コンクリート面Ｂ種
軒天井	Ⓔ	けい酸カルシウム板 ＥＰ塗り	塗装の劣化	下地調整ケイカル面RB種 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（ＤＰ）コンクリート面Ｂ種
軽量シャッター	Ⓕ	カラー鋼板	塗装の劣化	下地調整鉄鋼面RB種 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り（ＤＰ）鉄鋼面２種 アクリルシリコン樹脂系
ピクトサイン	Ⓖ	平付け アルミ板 150角	表面の劣化	ピクトサイン 平付け ステンレス製 200角 エッチング
大型引戸	Ⓗ	溶融亜鉛めっき鋼板焼付塗装	外部表面の劣化	高圧洗浄 下地処理 耐候性塗料塗り（ＤＰ）鉄鋼面２種 アクリルシリコン樹脂系

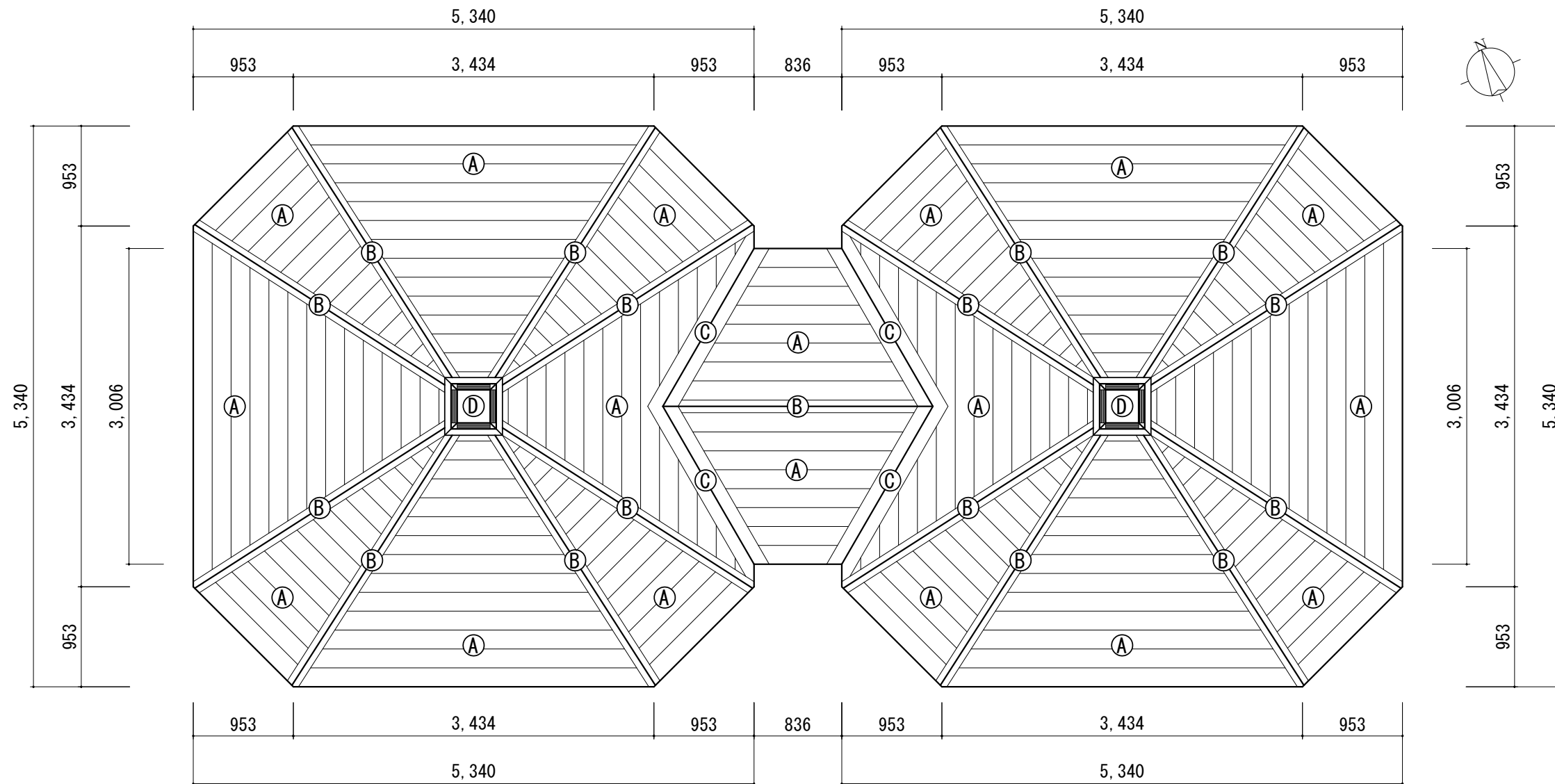
株式会社 三 和 技 術
一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号
一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信

承認 設計 担当
設計年月日 R8.3

縮 尺 1/50
設計年月日 R8.3

工事名称 深浦港夕陽公園トイレ補修工事
図面名称 立面図（２）

立面図（２）
No. A-06



屋根勾配 5/10

屋根伏図 S=1/50

屋根仕上 凡 例				
名 称	記 号	既存 仕上名称	現 況	改修 仕上名称
屋 根	Ⓐ	カラーガルバリウム鋼板 厚0.35mm 横葺き	塗装膜の劣化	下地調整後 耐候性塗料塗り
棟包み	Ⓑ	カラーガルバリウム鋼板 厚0.35mm	塗装膜の劣化	下地調整後 耐候性塗料塗り
谷 部	Ⓒ	カラーガルバリウム鋼板 厚0.35mm	塗装膜の劣化	下地調整後 耐候性塗料塗り
換気塔	Ⓓ	アルミ製(550mm角)		

株式会社 三 和 技 術

一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号
一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信

承認 設計 担当

縮 尺 1/50

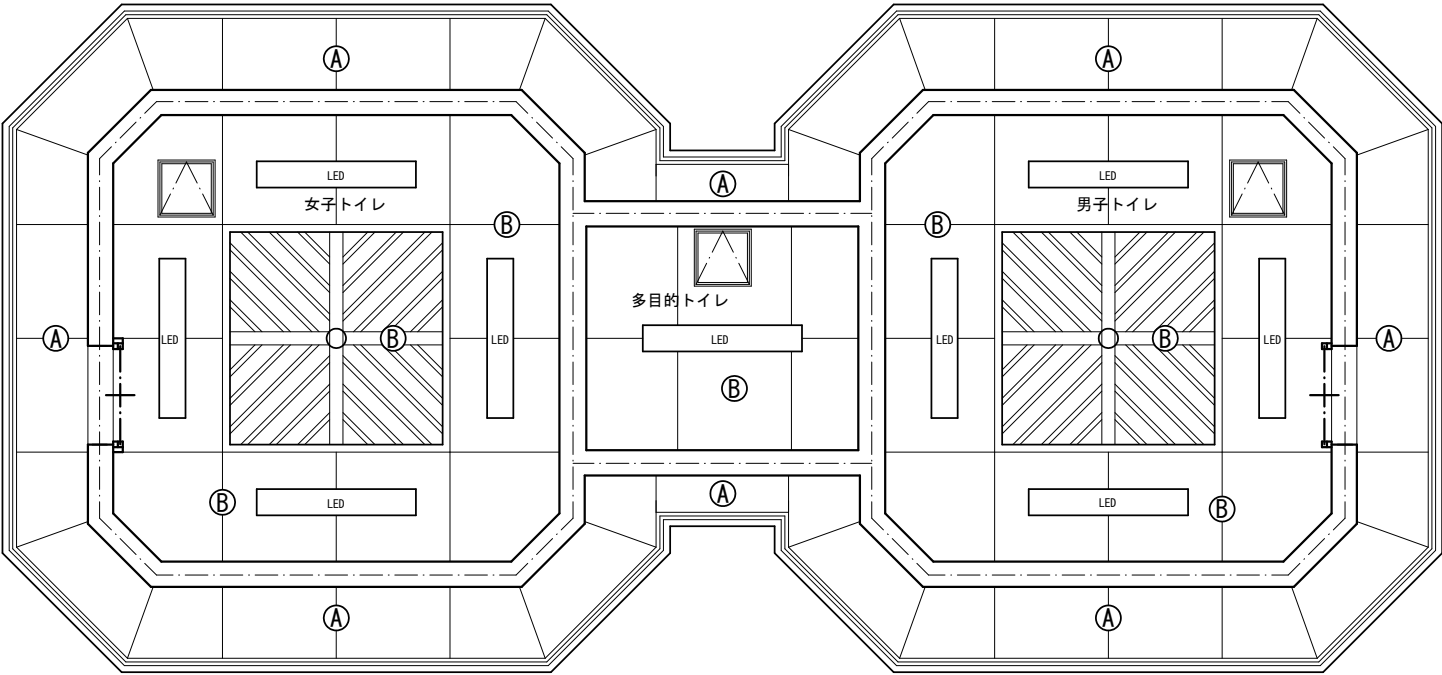
設計年月日 R8.3

工事名称 深浦港夕陽公園トイレ補修工事

図面名称 屋根伏図

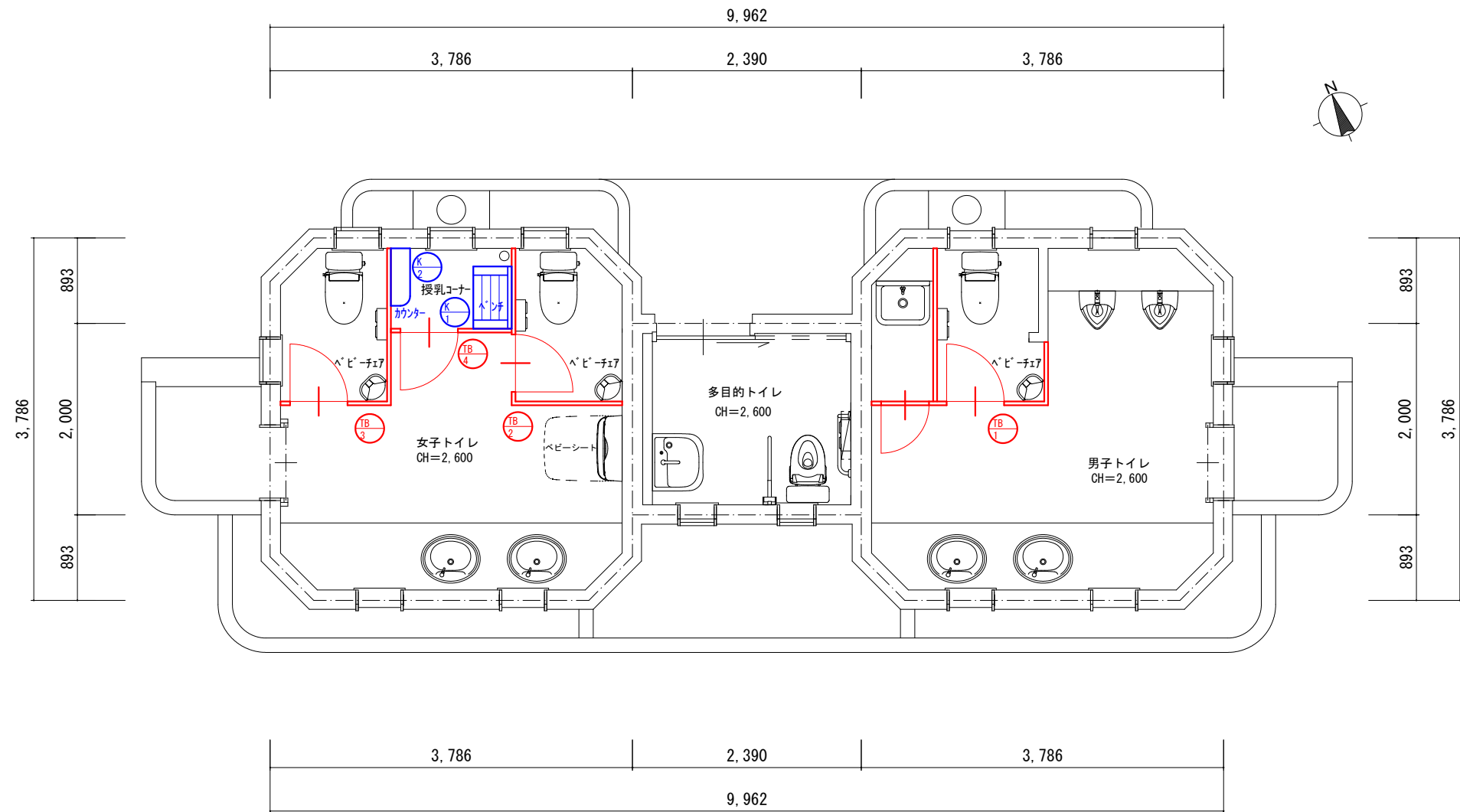
屋根伏図

No. A-07



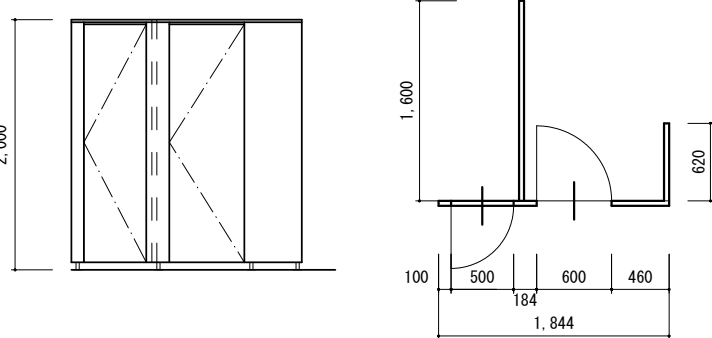
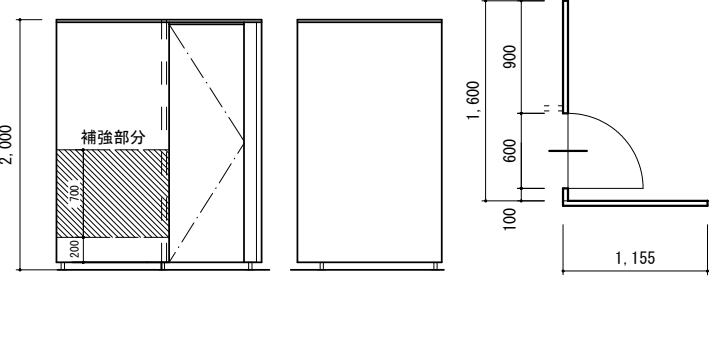
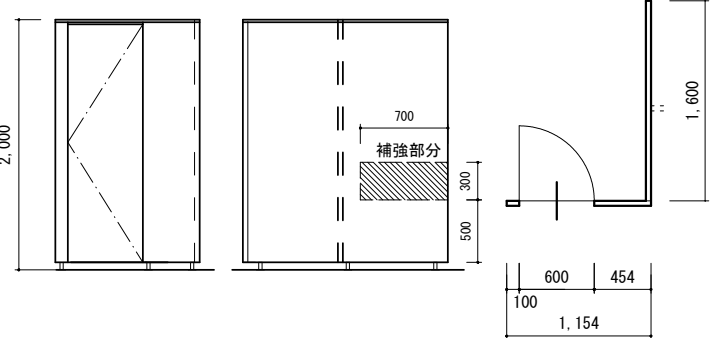
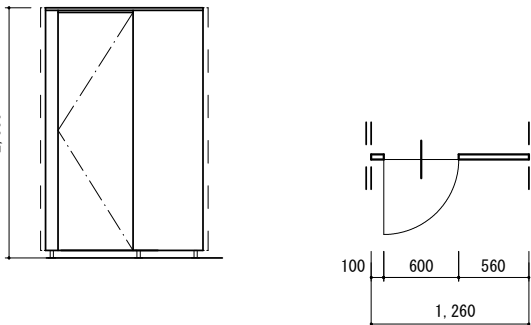
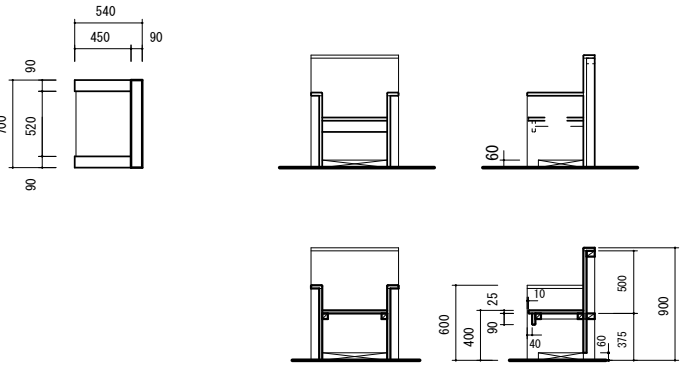
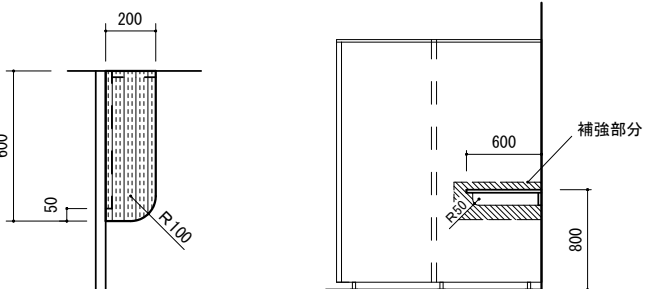
天井伏図 S=1/50

天井仕上 凡 例				
名 称	記 号	既存 仕上名称	現 況	改修 仕上名称
軒天井	㊦	けい酸カルシウム板 E P塗り	塗装の劣化	下地調整ケイカル面RB種 合成樹脂溶剤系シーラー 耐候性塗料塗り (DP) コンクリート面B種
内部天井	㊧	しな合板張り 木材保護塗料塗り	塗装の劣化	下地調整後 木材保護塗料塗り A種



建具キープラン S=1/50

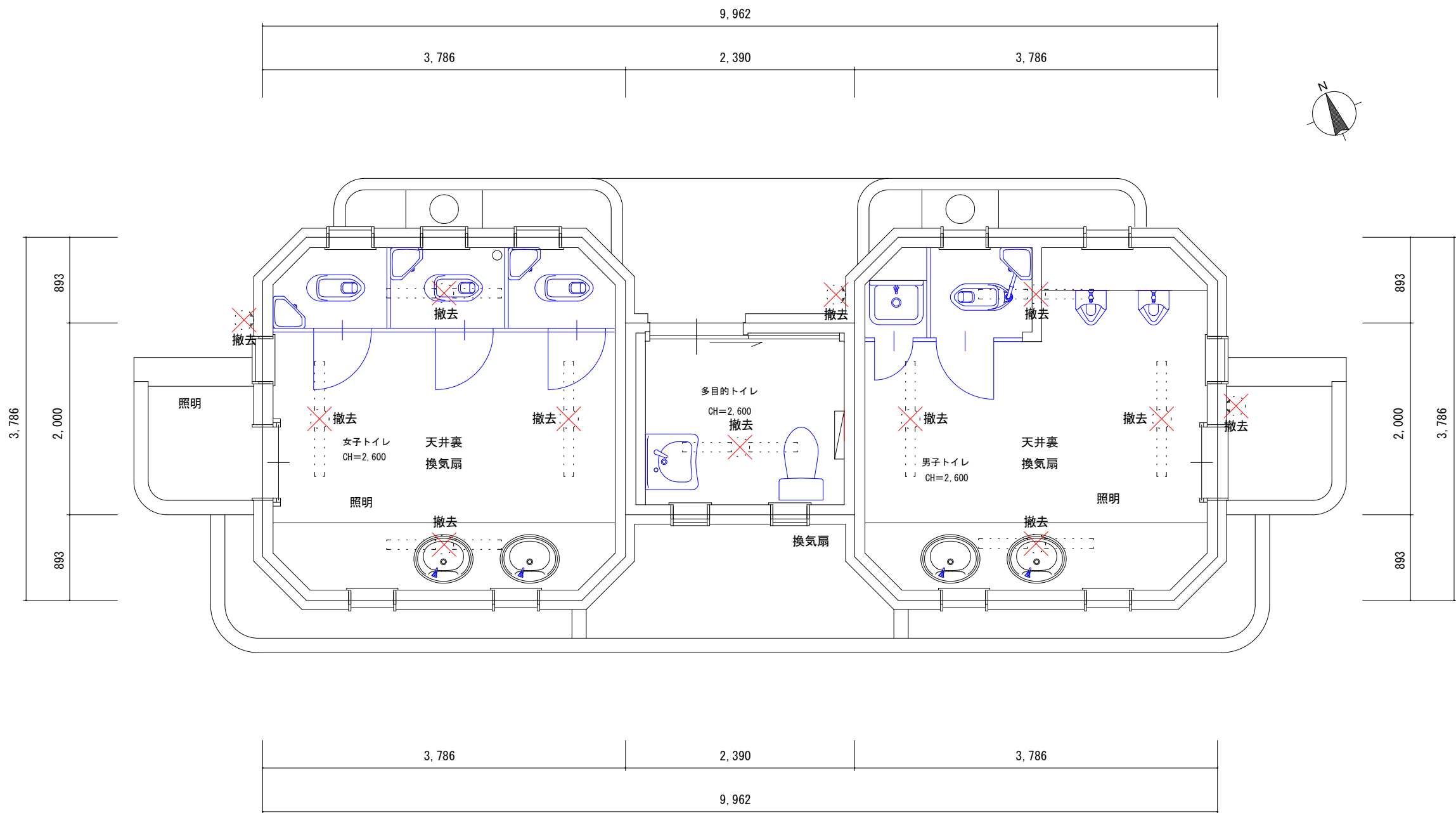
	株式会社 三 和 技 術 一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号 一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信	承認	設計	担当	縮 尺 1/50	工事名称 深浦港夕陽公園トイレ補修工事	建具キープラン No. A-09
					設計年月日 R8. 3	図面名称 建具キープラン	

符 号	TB 1			TB 2			TB 3		
形状寸法									
使用場所	男子トイレ	数量	1	女子トイレ	数量	1	女子トイレ	数量	1
形 式	トイレブース	見込寸法	40	トイレブース	見込寸法	40	トイレブース	見込寸法	40
仕上・硝子	ペーパーコア下地+パネティクルシート9mm・高圧メラミン樹脂化粧板			ペーパーコア下地+パネティクルシート9mm・高圧メラミン樹脂化粧板			ペーパーコア下地+パネティクルシート9mm・高圧メラミン樹脂化粧板		
建築金物	アルミ押出形材（エッジ、笠木、枠材）			アルミ押出形材（エッジ、笠木、枠材）			アルミ押出形材（エッジ、笠木、枠材）		
	ペーパーコア下地・高圧メラミン樹脂化粧板+MD F2.5t			ペーパーコア下地・高圧メラミン樹脂化粧板+MD F2.5t			ペーパーコア下地・高圧メラミン樹脂化粧板+MD F2.5t		
備 考									
符 号	TB 4			K 1			K 2		
形状寸法									
使用場所	女子トイレ	数量	1	女子トイレ	数量	1	女子トイレ	数量	1
形 式	トイレブース	見込寸法	40	ベンチ	見込寸法	—	カウンター	見込寸法	—
仕上・硝子	ペーパーコア下地+パネティクルシート9mm・高圧メラミン樹脂化粧板			タモ集成材 厚25mm 2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗り（2－U C）			タモ集成材 厚25mm 2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗り（2－U C）		
建築金物	アルミ押出形材（エッジ、笠木、枠材）			ステンレスビス留め ビスカップ			ステンレスビス留め ビスカップ		
	ペーパーコア下地・高圧メラミン樹脂化粧板+MD F2.5t								
備 考									

	株式会社 三 和 技 術	承認	設計	担当		縮 尺 1/50	工事名称	深浦港夕陽公園トイレ補修工事	建具表
	一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号					設計年月日 R8. 3	図面名称	建具表	No. A-10
	一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信								

② 建築物等・生産物の加工・加工品	5. 産業廃棄物の収集運搬に係る表示及び備え付け 6. 産業廃棄物の適正な処理の確保 7. 再資源化等の完了の報告	<table border="1"> <tr> <th>名 称</th><th>施設の名</th><th>施設の所在地</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>アスファルト・コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>建設発生木材</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 「産業物の処理及び清掃に関する法律施行令」の規定により、運搬車を用いて産業廃棄物の収集又は運搬を行う場合には、自己の産業廃棄物を運搬する場合を含め、同法施行規則に定められた事項を単体の前面側面に見やすいように表示するとともに、同規則に定められた書面を当該車両に備え付けること。 産業廃棄物の処理に当たってはマニフェスト（「産業物の処理及び清掃に関する法律」第12条第3項に規定する「産業廃棄物管理票」に相当）のA票とE票の写しを監督職員に提出すること。（完成時にE票が提出できない場合はD票とし、後からE票を提出すること。） （建設リサイクル法第3条の規定による「対象建設工事」の場合に限る。）法第18条第1項の規定による報告（書面の様式については監督職員の指示による）については、受主者は再資源化等が完了したときは、当該報告を監督職員に対して行うものとする。	名 称	施設の名	施設の所在地	備 考	コンクリート塊				アスファルト・コンクリート塊				建設発生木材				<table border="1"> <tr> <th>形 式</th><th>※ 電子交換</th><th>※ ボタン電話装置</th><th>※ PBX</th><th>※ VoIPシステム</th></tr> <tr> <td>回線数</td><td>※ 内線</td><td>※ 回線</td><td>※ 局線</td><td>※ 回線・専用データ（回線）</td></tr> </table> ・主装置等の搬去（交差時の取り扱い） ・本工事・別工事・ボタン電話機・多機能電話機・内線電話機・デジタルコードレス電話機 電話機1台につき、次のものを見込む。 ・EM-TIEF 0.65-20（※ 20m ※ m） ・EM-BTIEE 0.4-2P（※ 20m ※ m） ※ 一般電話用 個（※ 納入する ※ 取付ける） ※ 銅合金製 ※ アルミ製 ※ 本工事 ※ 別途工事	形 式	※ 電子交換	※ ボタン電話装置	※ PBX	※ VoIPシステム	回線数	※ 内線	※ 回線	※ 局線	※ 回線・専用データ（回線）	17 （※ 17）	1. 総則 2. 塗装工事 3. 機器類 4. ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定 1) 室内空気汚染（ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物）対策については、本章の内容を遵守すること。 2) 屋内に使用する材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分に少ないものをJASまたはJIS等を参考に適切に選択すること。原則としてはF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆を使用する。 1) 塗料は、ホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないもの、または、含有量が少ないものとする。ただし、性能上やむを得ない場合はこの限りでない。 2) 使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとり、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。 1) 機器類に使用する合板等はホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆のものを基本とし、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆とする。 工事完成前、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督職員に提出すること。また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の許容値を超えた場合は、監督職員と協議すること。 1) 測定の対象物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン 2) 測定対象室・測定箇所 ※図示 3) 測定方法 イ) 空気の採取 ※採取方式（※測定バッチ ※パッシブサンプラー ※パッシブガスクラブ）※吸引方式 ロ) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。 ホルムアルデヒド 高感度液体クロマトグラフィー 揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法
名 称	施設の名	施設の所在地	備 考																												
コンクリート塊																															
アスファルト・コンクリート塊																															
建設発生木材																															
形 式	※ 電子交換	※ ボタン電話装置	※ PBX	※ VoIPシステム																											
回線数	※ 内線	※ 回線	※ 局線	※ 回線・専用データ（回線）																											
③ 電気工器具・用	①電気方式 ②LED灯 3. 蛍光灯	幹線 単相 3 線式 200/100 V 50Hz 分岐 単相 2 線式 200 V 分岐 単相 2 線式 100 V ※ 連続調光とする室名（※ 詳細図示） H f 蛍光灯の点灯方式、定格入力電圧等は図示以外は下記による。	<table border="1"> <tr> <th>蛍光灯の種類</th><th>記号</th></tr> <tr> <td>センサー等と組合わせて連続調光を行う器具</td><td>PX9</td></tr> <tr> <td>連続調光に使用する器具</td><td>PZ9</td></tr> <tr> <td>初期寿命補正制御を行う器具</td><td>PK9</td></tr> <tr> <td>上記以外の電圧型及び下面調光型</td><td>PN9</td></tr> </table> 一般照明の照度測定は、明るさセンサーを設置される部屋がセンサー1個につき1ヶ所以上（明るさセンサーの設定値）設置されない部屋は1室1ヶ所以上の測定を行うものとし、設計図表は図示による。 ※ 電池内蔵形 ※ 電池別置形 ※ LED ※ ※ 電池内蔵形 ※ 電池別置形 ※ LED ※ ※ 飛び出し形 ※ 外部設置形 ※ 銅合金形 ※ アルミ製 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配管用遮断器4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本、天井まで立て上げる。	蛍光灯の種類	記号	センサー等と組合わせて連続調光を行う器具	PX9	連続調光に使用する器具	PZ9	初期寿命補正制御を行う器具	PK9	上記以外の電圧型及び下面調光型	PN9	1. 電気交換機 2. 電話機 3. 電話機への接続 4. ローテーションアウトレット（亀甲形） 5. 保安器用接地 11 1. 構内情報通信設備 2. 拡張設備 3. 映像・音響設備 4. 情報表示設備 5. 誘導・案内設備 6. テレビ共用受信設備 7. 監視カメラ設備 8. 駐車管理設備 9. 防犯・入退室管理設備 種類（※ イーサネット（方式：※ 無線LAN（方式：※ 増設器 W ※ 卓上形 ※ キャビネットラック形 ※ 一般用 ※ 非常用 ※ 併用 ※ 詳細図示）※ 増設器 W ※ レコーダー ※ 8時間以上録画又は録音のできる記憶容量 ※ 時間以上 ※ VTR（※ VHS ※ 8mm）※ プロジェクタ（※ 前面投影式 ※ 背面投影式）※ スクリーンサイズ ※ インチ ※ 出退表示機（※ 多線面接式 ※ バルブ透過式）※ 親時計 ※ 時刻補正（※ 標準電圧方式 ※ FMラジオ方式 ※ GPS方式 ※ ※ 壁掛式 ※ 自立形 ※ 電子式チャイム組込み ※ プログラムタイマー組込み ※ 行内連絡用 ※ 身体障害者用 ※ 夜間受付用 ※ エレベーター用 ※ テレビアンテナ（※ AU-2 ※ CSBSA ※ CSA ※ ※ 地上波アンテナマスト（※ 壁面取付形 ※ 自立形）※ BS・CS用アンテナマスト（※ 壁面取付形 ※ 自立形）※ 工事着手前アンテナの設置予定位置における電界強度等の調査測定をし、受信の可否を判定した報告書を提出する。 ※ 白黒方式 ※ ネットワーク接続方式 ※ 専用回線方式 ※ 検知機（※ 光線式 ※ ループコイル式）※ 接地工事（※ 本工事 ※ 別途）※ 配管 ※ 時刻補正（※ 親時計 ※ 時刻補正装置 ※ ※ 壁掛式 ※ 自立形 ※ 単独 ※ 複合盤（自火報 ※ 回線 ※ 自動閉鎖 ※ 回線 ※ ガス漏れ警報 ※ 回線）※ 計測受信機 ※ 機器収納箱 ※ 専用形（※ 埋込形 ※ 露出形）※ 屋内消火栓箱に組み込む ※ 埋込形 ※ 露出形 ※ 緊急地震速報（※ 行わない ※ 行う）※ 連動制御器 ※ 回線 ※ 単独（※ 壁掛形 ※ 自立形）※ 火報受信機などの複合盤 ※ 自動閉鎖機能 ※ 防火戸用（本工事 ※ 電動式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下）※ 防煙ダンク用（別途、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方後戻機能（電動式）、DC24V、0.7A以下）※ 防火ダンク用（別途、DC24V、0.6A以下）※ 自動閉鎖機能 ※ 排煙ダンク（別途、排煙機連動制御機能付）※ 受信機 ※ 型 ※ 回線（※ 都市ガス用 ※ 液化石油ガス用）※ 単独（※ 壁掛形 ※ 自立形）※ 火報受信機などの複合盤（一体型）	17 （※ 17）	1. 測定の対象物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン 2) 測定対象室・測定箇所 ※図示 3) 測定方法 イ) 空気の採取 ※採取方式（※測定バッチ ※パッシブサンプラー ※パッシブガスクラブ）※吸引方式 ロ) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。 ホルムアルデヒド 高感度液体クロマトグラフィー 揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法															
蛍光灯の種類	記号																														
センサー等と組合わせて連続調光を行う器具	PX9																														
連続調光に使用する器具	PZ9																														
初期寿命補正制御を行う器具	PK9																														
上記以外の電圧型及び下面調光型	PN9																														
4 重た工器具・用	1. 電気方式 2. 警報機 3. 電気設備用材料 4. 機器への接続 5. 電動機等の接地 6. 総合動作試験	幹線 三相3線式 200V 50Hz 分岐 三相3線式 200V ※ 壁掛式（電源装置 ※ 内蔵 ※ 別置）※ 電圧適用規格器具 ※ 電動機などへの接続は本工事とする。 図示以外は金属管接地とする。	1. 自動火災報知装置 2. 非常警報装置 3. 自動閉鎖装置 4. ガス漏れ警報装置 ※ 受信機 P 型 ※ 2 級 ※ 2 回線 ※ 壁掛形 ※ 自立形 ※ 単独 ※ 複合盤（自火報 ※ 回線 ※ 自動閉鎖 ※ 回線 ※ ガス漏れ警報 ※ 回線）※ 計測受信機 ※ 機器収納箱 ※ 専用形（※ 埋込形 ※ 露出形）※ 屋内消火栓箱に組み込む ※ 埋込形 ※ 露出形 ※ 緊急地震速報（※ 行わない ※ 行う）※ 連動制御器 ※ 回線 ※ 単独（※ 壁掛形 ※ 自立形）※ 火報受信機などの複合盤 ※ 自動閉鎖機能 ※ 防火戸用（本工事 ※ 電動式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下）※ 防煙ダンク用（別途、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方後戻機能（電動式）、DC24V、0.7A以下）※ 防火ダンク用（別途、DC24V、0.6A以下）※ 自動閉鎖機能 ※ 排煙ダンク（別途、排煙機連動制御機能付）※ 受信機 ※ 型 ※ 回線（※ 都市ガス用 ※ 液化石油ガス用）※ 単独（※ 壁掛形 ※ 自立形）※ 火報受信機などの複合盤（一体型）																												
5 電気設備用	1. 電気方式 2. 系統線 3. 施工箇所及び面積	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相 線式 V ※ 第2種 ※ 第4種 ※ 表玄関がーチ約 ※ 立木 ※ 約 ※ 約 ※ 約	1. 監視対象設備 2. 監視操作装置 3. 監視制御装置 ※ 動力設備 ※ 受電設備 ※ 自家発電設備 ※ 火災報知設備 ※ 空調 ※ 衛生 ※ Ⅱ型 ※ Ⅲ型 ※ 壁掛式 ※ 自立形 ※ 組み込み機器 ※ 構成機器 ※ グラフィックパネル ※ ミニグラフィックパネル ※ 操作卓 ※ ディスプレイ（※ 内蔵式液晶方式 ※ タッチパネル式の内蔵式液晶方式）※ 17型 ※ 19型 ※ 21型 ※																												

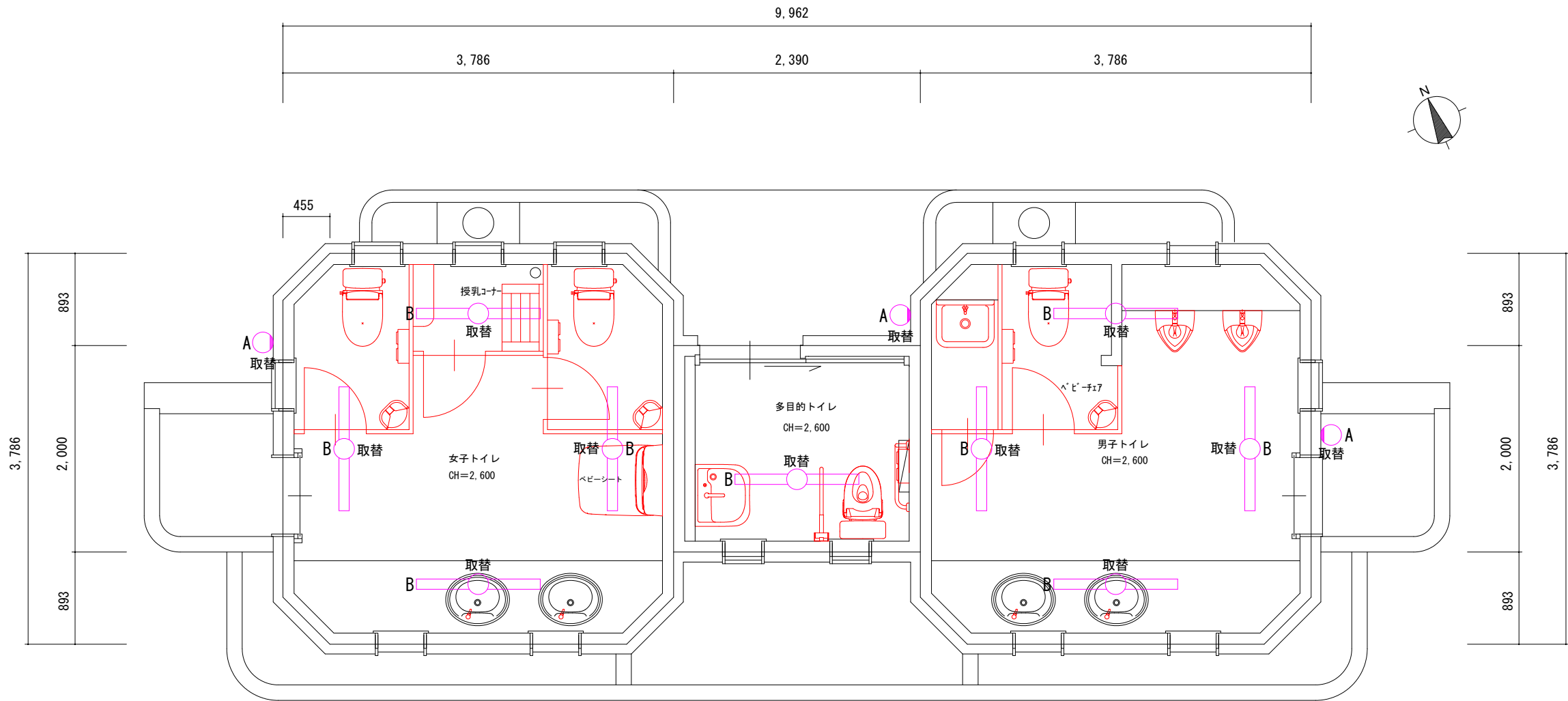
	株式会社 三 和 技 術	承 認	設 計	担 当		縮 尺	工事名称	深浦港夕陽公園トイレ補修工事	No. E-02
			一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号 一級建築士大臣登録第 233509号 佐 藤 允 信			設計年月日 R8. 3	図面名称	電気設備 特記仕様書-2	



平面図 S=1/50

撤去

	株式会社 三 和 技 術 一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号 一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信	承認	設計	担当		縮 尺	1/50		工事名称	深浦港夕陽公園トイレ補修工事		平面図
						設計年月日	R8. 3		図面名称	電機設備 平面図 (既存)		No.
										E-03		



照明器具姿図

A	LEDﾌﾗｯｸﾞﾗｲﾄ	B	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ
防雨・防湿		防雨・防湿	
●器具寸法：巾173×高354×出264 ●本体：アルミダイカスト（ブラック） ●グローブ：板ガラス（フロスト） ●定格電圧：AC100V ●消費電力：7.0W ●器具光束：450lm 固有エネルギー消費効率：57.6lm/W ●寿命：40,000時間 ●相関色温度：2700K ●非調光 ●質量：1.5kg		●埋込寸法：巾130×長1257 ●本体：ステンレス（白） ●LED：※別添シート（乳白） ●定格電圧：AC100V～242V ●消費電力：17.0W ●器具光束：2,460lm 固有エネルギー消費効率：144.7lm/W ●寿命：40,000時間 ●相関色温度：5000K ●非調光 ●質量：3.0kg	

LRS10MP/RP-4-21

平面図 S=1/50

修繕

株式会社 三 和 技 術
一級建築士事務所 青森県知事登録 第 1074号
一級建築士大臣登録 第 233509号 佐 藤 允 信

承認	設計	担当

縮 尺
1/50
設計年月日
R8. 3

工事名称	深浦港夕陽公園トイレ補修工事
図面名称	電気設備 平面図（修繕）

平面図
No. E-04

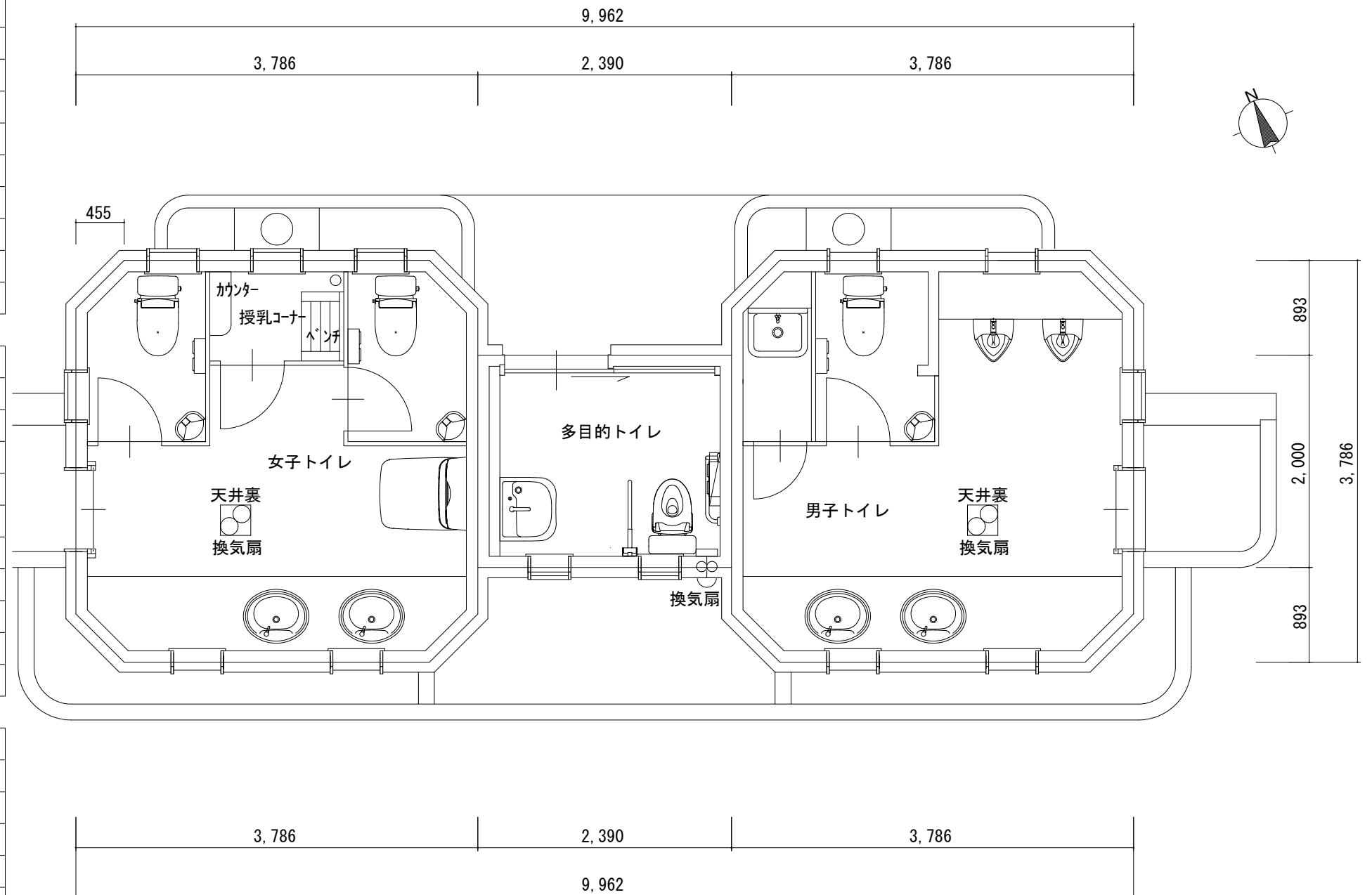
[illegible]

改修内容

男子トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
洋風便器	CS232BM, SH232BA, TCF301	1	給排水配管改修共
紙巻器	YH702	1	
小便器	既設品		
ハメ込み洗面器	既設品		
同上カウンター	既設品		
同上用排水共栓	ゴム栓	2	
掃除流し	既設品		
ベビーチェアー	YKA16S	1	
換気扇	SUS製 300φ	1	

女子トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
洋風便器	CS232BM, SH232BA, TCF301	2	給排水配管改修共
紙巻器	YH702	2	
ハメ込み洗面器	既設品		
同上カウンター	既設品		
同上用排水共栓	ゴム栓	2	
ベビーシート	YKA25S	1	
ベビーチェアー	YKA16S	2	
換気扇	SUS製 300φ	1	

多目的トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
洋風便器	既設品		
紙巻器	既設品		
洗面器	既設品		
手すり	既設品		
換気扇	既設品		

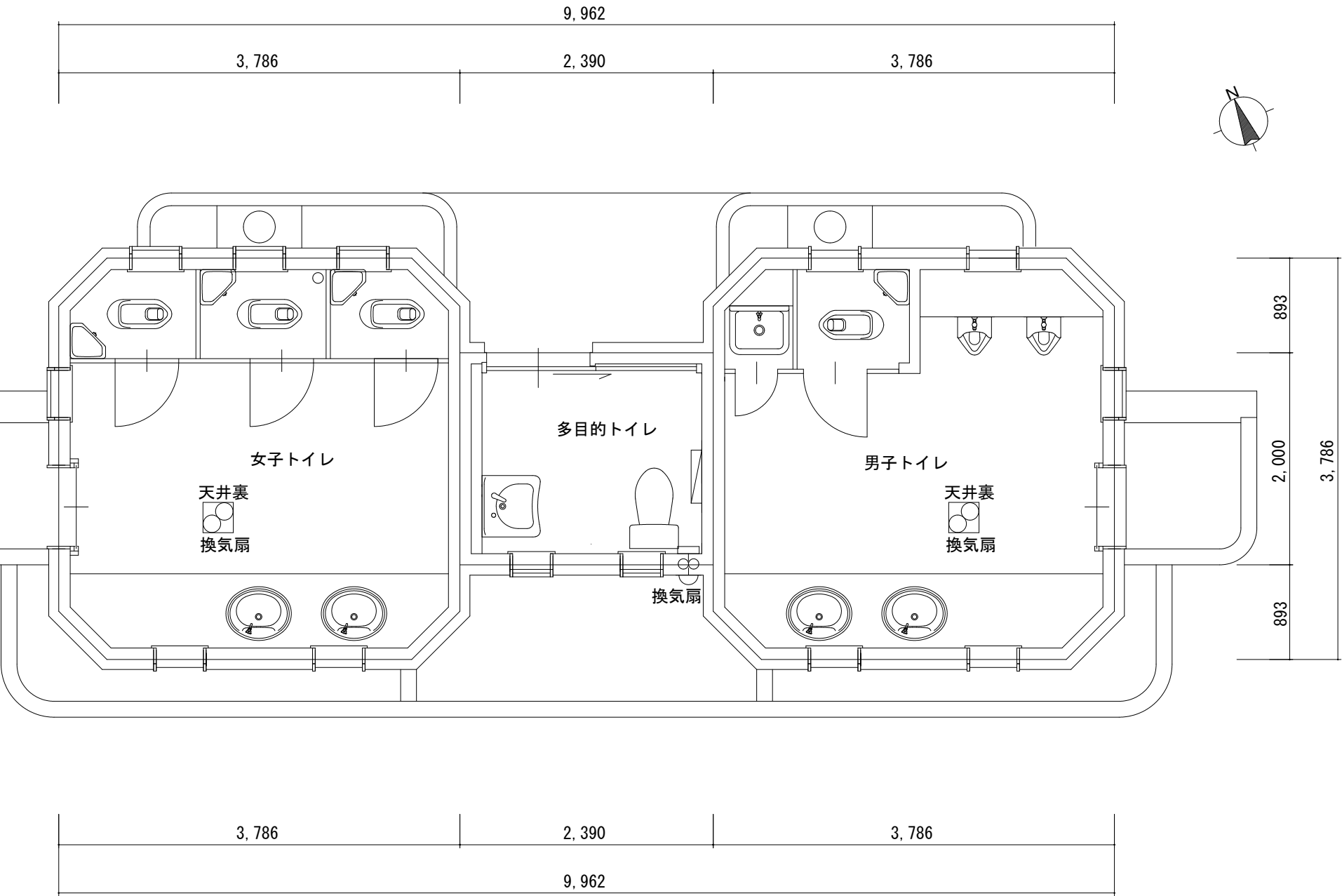


平面图 S=1/50

改修内容（既設）			
男子トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
和風便器	撤去	1	給排水配管改修共
紙巻器	撤去	1	
小便器	既設品		
ハメ込み洗面器	既設品		
同上水栓	既設品		
同上カウンター	既設品		
掃除流し	既設品		
換気扇	撤去	1	

女子トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
和風便器	撤去	3	給排水配管改修共
紙巻器	撤去	3	
ハメ込み洗面器	既設品		
同上水栓	既設品		
同上カウンター	既設品		
換気扇	撤去	1	

多目的トイレ			
品名	仕様・規格・記号	数量	備考
洋風便器	既設品		
紙巻器	既設品		
洗面器	既設品		
換気扇	既設品		



平面図 S=1/50